

令和8年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和8年5月1日

心をつなぐ「あいさつ」の力

早いもので今年度も1ヶ月が過ぎました。4月に入学した1年生も、少しずつ学校生活に慣れ、教室や校庭に元気な笑顔が広がっています。

今、正門付近では、計画・代表委員の子供たちが中心となって「あいさつ運動」を行っています。上級生たちが率先して明るい声を響かせる姿は、学校全体を活気づけてくれています。私は全校朝会で、こうした姿を紹介しながら「あいさつの大切さ」について話しました。毎朝交わす「おはようございます」という言葉。それは単なる習慣ではなく、相手の存在を認め、大切に思う気持ちを届ける「心の握手」です。

アメリカの最新の調査に目を向けると、現代の労働市場では専門的な知識以上に、変化の激しい社会を生き抜く「対人能力」の価値が再認識されています。将来、技術革新が進む社会になればなるほど、私たち人間にしかできない温かなコミュニケーションや、信頼関係を築く力こそが、子供たちの進路を切り拓く大きな武器となります。

あいさつは、社会とつながるための第1歩であり、他者を敬う心を養う大切な基礎となります。自分から一歩踏み出し、勇気を持って声をかける経験は、子供たちの中に確かな自己肯定感を育みます。同時に、互いを認め合う言葉を交わす喜びが、一人ひとりの可能性を広げ、共に高め合っていく大きな力に変わるのだと考えています。

子供たちが瑞々しい感性を育み、未来をたくましく生き抜く力を身につけていけるよう、学校・家庭・地域が手を取り合い、温かく見守りながら共に歩んでまいりましょう。

出典：Federal Reserve Bank of New York “The Labor Market for Recent College Graduates”（2024-2025 年最新発表データより）

1年生を迎える会

写真

力を合わせ みんななかよく

さあやるぞ

4月24日 1年生を迎える会

新しい仲間を優しく包み込む上級生と、それに応える1年生の弾けるような笑顔。会場全体が春の陽だまりのような優しさに包まれていました。